

# のうがく こども能楽入門 ワークショップのあんない

参加無料  
— 定員 —  
50名程度

## のうがく 「能楽」ってナニ? 「能楽」はむずかしい?!

今から650年前に誕生した日本を代表する伝統芸能で、面をつけた人が謡(うたい)と呼ばれる歌や笛(ふえ)、太鼓(たいこ)などの演奏に合わせて演じる劇です。

今回、小中学生の皆さんにも能楽に興味を持ってもらえるよう

講師の先生のわかりやすいお話を聞きます。

また、実際に舞台の上で面をつけたり、

太鼓(たいこ)をたたいたりする体験をしてもらいます。

日時

平成30年 **3月10日(土)**  
14:00~15:30

場所

ずいしんいん のう ま  
**随心院 能の間**

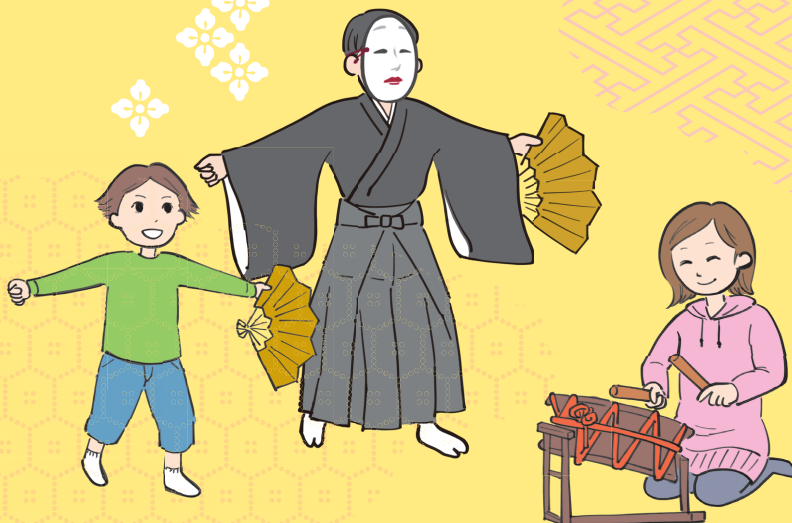
山科区小野御霊町35  
(地下鉄東西線小野駅 徒歩約5分)

【随心院へのアクセス】  
小野駅から徒歩約5分



講師

重要無形文化財認定保持者  
公益社団法人京都観世会理事 **吉浪壽晃氏**



### 第1部 能楽入門 ワークショップ

- 講師から能楽の歴史や能面等にまつわるお話を聞きましょう。
- 実際に能楽を体験してみしましょう。



### 第2部 能楽鑑賞



演者による能  
「橋弁慶」を  
見ましょう。

※裏面に解説が  
あります。

#### ◆ 演者 ◆

シテ……吉浪壽晃氏  
牛若……吉浪和紗氏  
笛……森田保美氏  
小鼓……林大和氏  
大鼓……石井保彦氏  
太鼓……井上敬介氏



地謡……深野貴彦氏  
地謡……宮本茂樹氏

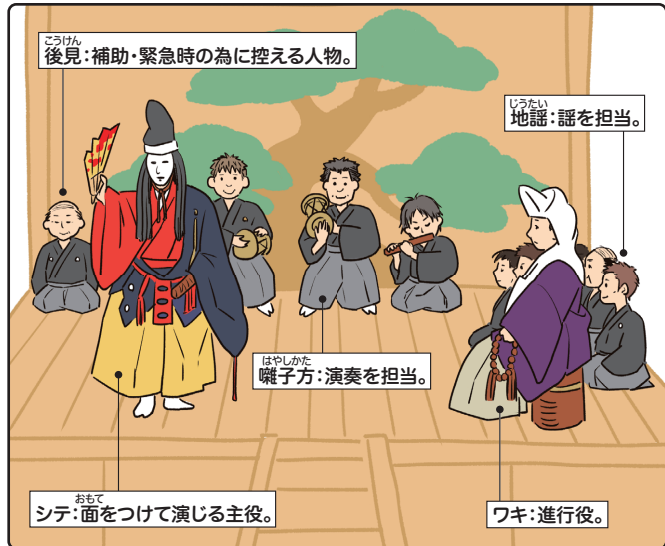
## 保護者の皆さまへ

# 「能楽」とは？

日本古来の伝統芸能で舞踊と音楽による演劇の一つで、「謡」という声楽と「囃子」という楽器演奏に乗せて舞踏的な動きを進めていきます。

また、「能楽」は、「能面」あるいは「面」という仮面を使う仮面劇です。「能面」は、「シテ方」と呼ばれる能の主演を演じる役者や「シテ方」を補助する役者がつけます。「能面」は、普段の自分と全く違う次元の役に変身するための道具で、役者にとってはとても大切なものです。

能舞台では、謡という声楽を担当する人々が座るところと、太鼓、大鼓、小鼓、笛など囃子を担当する人々が座るところが決まっています。



## 今回鑑賞するのは 橋弁慶

比叡山西塔近くに住む武蔵坊弁慶は、ある願い事があって、五条天神へ参詣をしようと思っていたところ、従者から、五条の橋に化け物のような人斬りが出るので、参詣を控えるように進言されます。いったんは思いとどまった弁慶ですが、恐れをなして逃げ出すことは無念と、怪しい人斬りを退治することを決意します。弁慶が五条の橋に行くと、牛若(牛若丸)が女装して待ち構えていました。女だからとやり過ごそうとする弁慶に牛若が斬りかかります。弁慶は長刀を振るって応戦しますが、身軽な牛若に翻弄されます。ついに降参した弁慶は、牛若と主従の契りを結びました。

### 参加申込み

#### ■対象

山科区内の小学4～6年生  
及び中学生(保護者の同席も可)

#### ■定員

50名程度(応募者多数の場合は、  
抽選により参加者を決定します。)

#### ■申込方法

申込み締切:

**2月16日(金) 17:00 必着**

①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号、  
⑤学校名、⑥学年を明記のうえ、はがき又はFAXでお  
申し込みください。

※後日、当否にかかわらず結果を通知します。

#### 申込み先

山科区役所地域力推進室総務・防災  
担当 こども能楽入門ワークショップ 宛

はがき  
宛先

**〒607-8511**

(住所記載不要)

FAX

**502-1639**

お問合せ先

山科区役所地域力推進室総務・防災担当

TEL: 592-3064